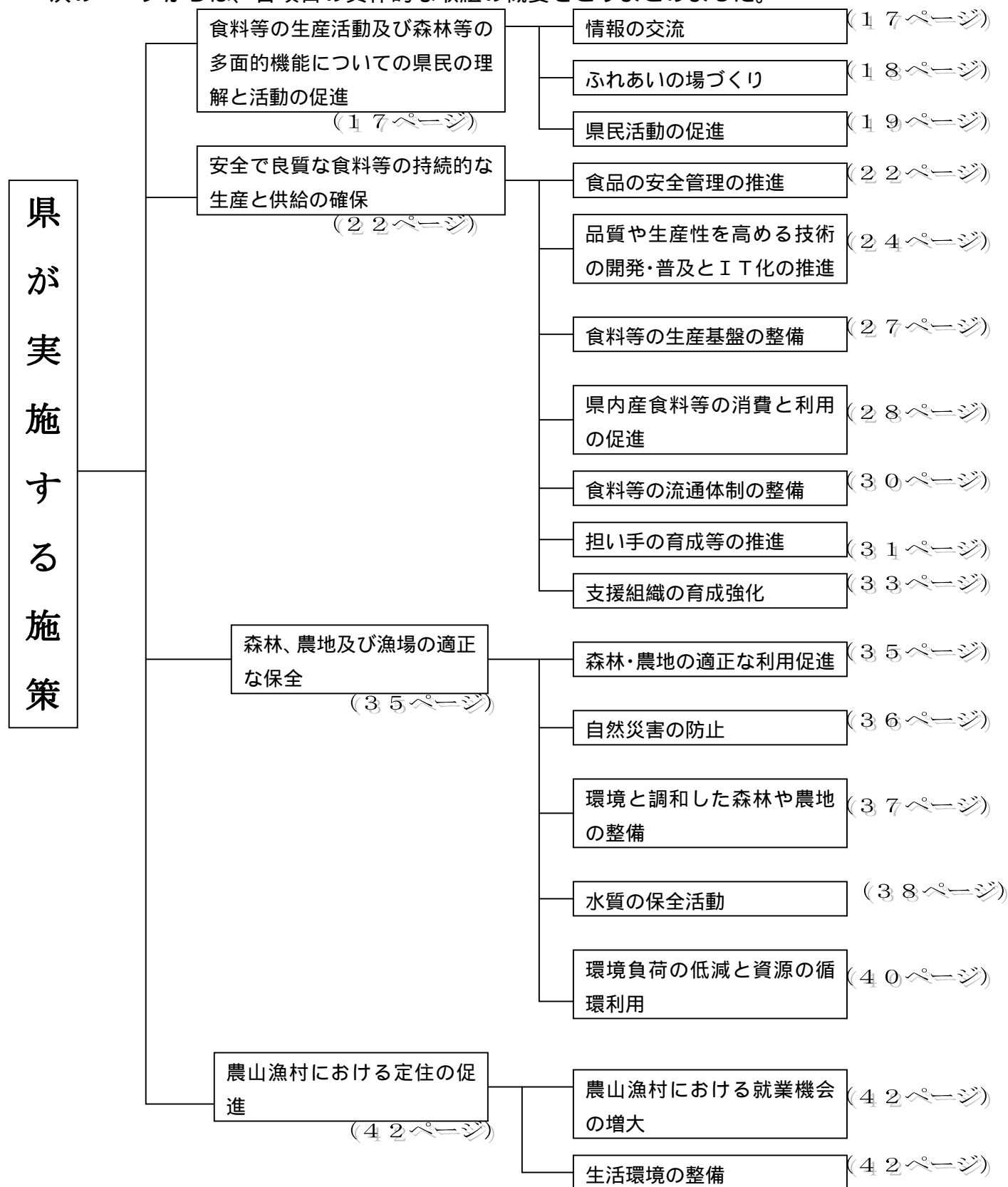


施策体系ごとの目標達成状況とその取り組み

地域推進プランで掲げる延べ102の取組項目の目標を達成するため、県は地域の関係者や県民と協働、連携して2007年度に様々な施策を進めてきました。

次のページからは、各項目の具体的な取組の概要をとりまとめました。



凡例

表中、年度ごとの目標数値が同じ場合は  とした。

表中、目標及び実績欄の()書きは、西三河地域の単独目標数値及び実績数値ではなく県全体の目標数値、実績数値である。

表中 - は、元となる食と緑の基本計画及び西三河地域推進プランにその年度の目標数値の設定がない場合は - で表した。その目標数値に対する実績値がない場合も - とした。

表中 * は、年度到来前で実績値が把握できないので * とした。

1 食料等の生産活動及び森林等の多面的機能についての県民の理解と活動の促進

(1) 情報の交流

[農林水産情報の交流促進]

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
小中学校等における森林環境学習の受講者	目標	年500人	—				→	林務課
	実績	584人	619人	588人	*	*	*	

取り組みの概要

森林学習講座を中学校・小学校・建築士に対して延べ計11回実施し、受講者は588人でした。

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
総合治水推進週間関連イベントの開催	目標	(開催)	—				→	西三河・知立建設事務所
	実績	(開催)	(開催)	(開催)	*	*	*	

取り組みの概要

ビジュアルボードの展示により森林、農地の役割を紹介しました。また、流域親子フォーラムを開催し、親子に森林、農地、ため池の機能を説明しました。

[食生活に関する知識の普及啓発]

(いずれも累計)

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
栄養成分表示店の指定拡大	目標	(1,600件)	(1,900件)	(2,200件)	(2,400件)	(2,700件)	(3,000件)	保健所
	実績	(1,547件)	(1,663件)	(1,778件)	*	*	*	

取り組みの概要

飲食店等への栄養成分表示の定着促進を図るため、アンケート調査の実施と研修会、講習会を実施しました。

[ふれあいの場情報の提供]

(いずれも累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
「農、山、海の幸づくりルート」(観光ルート)の開発	目標	—	1ルート	2ルート	3ルート	4ルート	5ルート	農政課
	実績	—	3ルート	7ルート	*	*	*	
観光農業、農山漁村の自然、風景、人、食、文化等のデータ登録	目標	—	41件	—————▶				農政課
	実績	—	86件	163件	*	*	*	

取り組みの概要

[農、山、海の幸づくりルートの開発]

西尾・幡豆地域内を対象に、「中・近世のおもかげ 西三河南部の歴史にふれる」「近代の息吹にふれる」、「西三河の海でちょびり漁業体験」、「三河湾ど真ん中 佐久島の風物とふれあう」のルートを作成しました。

[観光農業、農山漁村の自然、風景、人、食、文化等のデータ登録]

市町長からの推薦により調整した結果、目標以上の登録数となりました。登録された内容をルート作成に活用しました。

(2) ふれあいの場づくり

[交流施設の整備等]

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
漁港区域内緑地の整備	目標	()	()	()	(17,000㎡)	—————▶		西三河建設事務所
	実績	()	()	(-)	*	*	*	

取り組みの概要

2008年度からの供用開始に向けて、一色漁港の緑地施設の整備を実施しました。

[花と緑のある暮らしづくり推進]

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
花壇コンクールの参加小中学校	目標	年15校	————▶	年16校	—————▶			農政課
	実績	15校	17校	17校	*	*	*	
学校関係緑化コンクールの参加小中高等学校	目標	毎回2校	—————▶				————▶	林務課
	実績	2校	3校	4校	*	*	*	

取り組みの概要

[花壇コンクールの参加小中学校]

教育事務所と連携を図り推進し、管内6市から15小学校・2中学校の参加を得ました。参加校から春花壇で国土交通大臣賞、秋花壇で愛知県大賞を受賞しました。

[学校関係緑化コンクールの参加小中高等学校]

市町教育委員会と連携して、コンクール参加に関する啓発活動を行いました。
環境緑化；岡崎小、形埜小、常磐東小、額田中

(3) 県民活動の促進

[消費者、生産者等の協働活動の推進]

(累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
いいともあい ちネットワーク の拡大	目標	55会員	59会員	62会員	65会員	→	→	農政課
	実績	57会員	64会員	79会員	*	*	*	

取り組みの概要

地産地消に理解のあるスーパー、飲食店を中心に推進を図りました。
今年度は、商工会議所、商工会、漁業協同組合などをを中心に会員の拡大を図ります。

[地域の森づくりの推進]

(累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
「愛知万博」 を記念した森 づくりなどの 活動支援	目標	1グループ	→	2グループ	→	3グループ	4グループ	林務課
	実績	2グループ	2グループ	2グループ	*	*	*	

取り組みの概要

環境循環型社会の形成につなげるために、森林整備方法についての支援を行いました。

[地域住民一体による食と緑を活用した地域づくり]

(累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
モデル的な地 域づくりの取 り組み	目標	1地区	→	→	→	→	→	農政課
	実績	1地区	1地区	1地区	*	*	*	

取り組みの概要

西尾市の憩いの農園再編整備計画に関する福地南部活性化推進の専門部会に出席し、計画作成の支援をしました。
本年度も農村活性化プロジェクトチーム「憩いの農園」に参画し、再編整備計画の支援をします。

[食育指導者等の育成]

(累計)

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課	
「豊かな食と農の伝道者」の育成	目標	13人	→					→	普及課
	実績	18人	18人	18人	*	*	*		

取り組みの概要

農産物加工技術や農産物栽培技術の優秀な農業者を「食と農の伝道者」として登録された中から、小学校等に派遣し、児童等の農業体験や食育を支援しました。

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
水産業体験活動指導者の育成	目標	(3人)	→	(6人)	→	(10人)	→	水産課
	実績	(3人)	(3人)	(6人)	*	*	*	

取り組みの概要

指導漁業士の中から、新たに活動指導者3名を選任し、そのうち1名は料理講習会に参加し、愛知の水産物の情報を提供しました。

[流域森林・林業活性化センターへの支援]

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課	
森林整備や三河材利用促進のための研修会開催の支援	目標	年1回	→					→	林務課
	実績	0回	1回	1回	*	*	*		

取り組みの概要

高性能林業機械3セットを使った低コスト木材生産の実演及び説明、普及PRを行いました。

日時：平成19年12月22日

場所：岡崎市切山町

[海・川等の清掃活動の支援]

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
漁業者と県民による海や川のクリーンアップ活動の支援	目標	年7か所	→				→	水産課
	実績	7か所	7か所	7か所	*	*	*	
河川や水路の清掃、除草活動への参加者	目標	年500人	→	年800人	年1,200人	年1,600人	年2,000人	建設課
	実績	512人	473人	739人	*	*	*	

取り組みの概要

[漁業者と県民による海や川のクリーンアップ活動の支援]

漁場、沿岸及び河川に堆積した廃棄物の清掃を、各市町が漁協の協力を得てクリーンアップを7か所で実施しました。

- ・実施市町～岡崎市、碧南市、安城市、西尾市、一色町、幡豆町

[河川や水路の清掃、除草活動への参加者]

国土交通省の主唱による「川と海のクリーン大作戦」関連行事として、豊田市水源町地内にある明治用水頭首工の上・下流約1kmのゴミ拾い及び分別活動を実施しました。

- ・10月27日(土) 三河地区明治用水会場 参加者254人

安城市内で開催したウォーキング大会において、参加者に明治用水の緑道沿線のゴミ拾いに協力いただき、チェックポイントにおいて回収・分別活動を実施しました。

- ・11月24日(土) 第9回明治用水と緑道ウォーキング 参加者185人

2 安全で良質な食料等の持続的な生産と供給の確保

(1) 食品の安全管理の推進

[栽培・飼養管理の適正化]

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課	
家畜疾病の監視検査の実施	目標	(2,280頭・羽)	(2,220頭・羽)	(2,160頭・羽)	(2,100頭・羽)	(2,040頭・羽)	(2,000頭・羽)	中央家畜保健衛生所	
	実績	(5,052)	(4,634)	(4,574)	*	*	*		
農薬使用者を対象とした講習会受講者	目標	年4,150人	→						普及課
	実績	5,729人	12,798人	5,167人	*	*	*		

取り組みの概要

[家畜疾病の監視検査の実施]

24ヶ月齢以上の死亡牛全頭のBSE検査を実施しました。HPAI監視検査は採卵鶏農場全戸の清浄性を確認しましたが、廃業農家の増加により検査羽数がやや減少しました。

[農薬使用者を対象とした講習会受講者]

ポジティブリスト制度が施行されたことから、昨年度に引き続き農薬の安全使用を図るため、農薬飛散防止対策講習会や資料提供等を通じて農薬の適正使用を指導しました。

[農産物環境安全推進マニュアルの策定]

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
農産物環境安全推進マニュアルの導入	目標	—	—	1産地	3産地	4産地	5産地	普及課
	実績	—	2産地	3産地	*	*	*	

取り組みの概要

安全・安心な農産物への高まりから、額田夏秋なす部会、幸田町夏秋なす部会、JAあいちチンゲン菜部会が、農産物環境安全推進マニュアルを導入しました。

[生産情報の提供]

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
トレ-サビリティシステムの導入	目標	(2品目)	(3品目)	→				農政課
	実績	(2品目)	(2品目)	(3品目)	*	*	*	

取り組みの概要

牛の個体識別情報管理の徹底化を図るとともに、豚のモデル団体の指導を行いました。また、鶏卵のトレーサビリティのモデル団地を1団体導入しました。

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
農業協同組合 生産部会員の 生産履歴情報 のデータベ ース化	目標	77%	82%	86%	90%	95%	100%	農政課
	実績	96%	95%	99%	*	*	*	

取り組みの概要

消費者の食の安全・安心の関心は高く、信頼を確保するための生産履歴の記帳を推進し、記帳を終えた農協の生産部会員の割合は、99%となりました。記帳指導等は、経済連 農協 部会員で実施しました。

[食品の表示や安全性の監視・検査の実施]

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
食品の品質表 示状況調査の 実施	目標	年104店舗	—				→	農政課
	実績	104店舗	104店舗	105店舗	*	*	*	
食品表示ウ オッチャーの 配置	目標	年20名	—				→	農政課
	実績	20名	21名	20名	*	*	*	

取り組みの概要

(食品の品質表示状況調査の実施)

食品表示や安全性の監視・検査のため、4回に分けて105店舗の品質表示状況調査を計画どおりに実施しました。

今年度も、食品表示や安全性の監視・検査のため4回に分けて26店舗づつ104店舗の品質表示調査を実施します。

(食品ウオッチャーの配置)

食品販売店の食品表示の監視のため、食品ウオッチャー20名を平成19年5月30日に依頼しました。

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
貝毒検査の実 施	目標	(年5回)	—				→	水産課
	実績	(6回)	(5回)	(5回)	*	*	*	

取り組みの概要

貝毒検査を3月から5月に5回実施しました。また、貝毒の原因となるプランクトンの調査を13回実施しました。

(2) 品質や生産性を高める技術の開発・普及とIT化の推進

[ハイテク農業の推進]

(いちごの高設栽培及び野菜・花きの養液土耕栽培は累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
酪農搾乳ロボット等の導入(大規模飼養農家(搾乳牛100頭以上)の導入)	目標	25%	→	40%	→	→	→	農政課
	実績	25%	25%	50%	*	*	*	
トレーサビリティシステムの導入(再掲)	目標	(2品目)	(3品目)	→	→	→	→	農政課
	実績	(2品目)	(2品目)	(3品目)	*	*	*	
農業協同組合生産部会員の生産履歴情報のデータベース化(再掲)	目標	77%	82%	86%	90%	95%	100%	農政課 普及課
	実績	96%	95%	99%	*	*	*	
いちごの高設栽培	目標	109戸	112戸	114戸	116戸	118戸	120戸	普及課
	実績	114戸	113戸	119戸	*	*	*	
野菜・花きの養液土耕栽培	目標	37戸	42戸	46戸	49戸	56戸	63戸	普及課
	実績	37戸	44戸	48戸	*	*	*	

取り組みの概要

[酪農搾乳ロボット等の導入]

管内に大規模飼養農家は4戸あり、うち搾乳ロボット導入農家は1戸、IT牛舎1戸です。補助金、制度資金の活用による導入を引き続き推進しました。

[トレーサビリティの導入]

前掲(P22~P23)参照

[農業協同組合生産部会員の生産履歴情報のデータベース化(再掲)]

前掲(P23)参照

[いちごの高設栽培、野菜・花きの養液土耕栽培]

栽培の省力化と生産の安定を図るために、意欲ある農業者を重点的に推進し、いちごの高設栽培や促成ナス、カーネーション、キクの養液土耕栽培の導入を図りました。

[優良種苗、種畜の安定供給]

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
種子更新率の向上(水稻の種子更新率)	目標	54%	61%	67%	73%	79%	85%	農政課 普及課
	実績	70%	83%	83%	*	*	*	
種子更新率の向上(麦の種子更新率)	目標	85%	87%	90%	93%	96%	100%	農政課 普及課
	実績	96%	100%	100%	*	*	*	
種子更新率の向上(大豆の種子更新率)	目標	42%	44%	46%	48%	49%	50%	農政課 普及課
	実績	45%	47%	45%	*	*	*	
乳牛の年平均乳量(1頭当)	目標	8,400kg	8,500kg	8,600kg	8,700kg	8,800kg	8,900kg	農政課
	実績	8,000kg	8,090kg	8,208kg	*	*	*	
豚の系統豚利用率	目標	69%	70%	71%	72%	74%	76%	農政課
	実績	66%	71%	72%	*	*	*	

取り組みの概要

[種子更新率の向上]

水稻：品種が確認された種子による「売れる米づくり」及び全農ブランド「JA米」の推進により、種子更新率も上昇しています。

麦：県内の主産地として栽培されており、「農林61号」が7割、「イワイノダイチ」が3割で、担い手の高品質麦の生産の推進により、100%の種子更新率となっています。

大豆：実需者の求める高品質大豆生産のため、オペレーターを中心とした種子更新を啓発し、高品質安定生産の意識もほぼ定着しています。

[乳牛の年平均乳量]

減産型の計画生産が2年目に入り、年数を経た能力の低い乳牛の淘汰が進み、1頭当たりの年平均乳量はかなり増えましたが、目標数値には届きませんでした。

[豚の系統豚利用率]

系統豚利用事業者は24戸です。全養豚農家は35戸から33戸へ減少しました。特に、デュロック種の新系統豚(アイリスナガラD)の利用をPRしました。

[農林水産業の技術的支援]

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課	
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度		
普及情報ネットワークでの情報提供	目標	(年40万件)	(42.5万件)	(45万件)	(47.5万件)	(50万件)	(年50万件)	普及課 林務課 水産課	
	実績	(56.7万件)	(130万件)	(141万件)	*	*	*		
技術等の普及推進(農業：普及事項)	目標	年90	—————▶						普及課
	実績	112	128	111	*	*	*		
技術等の普及推進(林務：重点普及課題)	目標	年15	—————▶						林務課
	実績	14	15	15	*	*	*		
技術等の普及推進(水産：重点普及課題)	目標	年4	—————▶						水産課
	実績	4	4	4	*	*	*		

取り組みの概要

[普及情報ネット]

普及情報推進会議を開催するとともに、普及に係わる情報995件を会員1,426人に提供しました。

[農業]

各部門ごとに重点課題を掲げ、効果的・効率的な普及活動を展開しました。

[林務]

森林・林業に関する技術・知識の普及と指導により、経営の改善及び後継者の活動推進に努めました。

[水産]

漁業者に対して、クルマエビの栽培漁業、アサリの資源管理、のり養殖管理等の課題を計画的に普及推進しました。

(3) 食料等の生産基盤の整備

[農業の生産基盤の整備] (30a区画以上の水田整備及び水稲不耕起V溝直播栽培は累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
30a区画以上の水田整備	目標	27ha	83ha	114ha	141ha	160ha	173ha	建設課
	実績	25ha	78ha	112ha	*	*	*	
水稲不耕起V溝直播栽培	目標	576ha	800ha	1,120ha	1,440ha	1,800ha	2,200ha	普及課
	実績	576ha	569ha	587ha	*	*	*	
無人ヘリコプターの利用	目標	延4,880ha	延5,120ha	延5,340ha	延5,560ha	延5,780ha	延6,000ha	普及課
	実績	4,880ha	6,439ha	4,149ha	*	*	*	

取り組みの概要

[30a区画以上の水田整備]

農作業の機械化による省力化と効率化を推進するために必要な30a区画以上の水田のほ場整備を112ha実施しました。

[水稲不耕起V溝直播栽培、無人ヘリコプターの利用]

低コスト生産を実現する水稲不耕起V溝直播を推進するため、不耕起V溝直播機を1台導入し、昨年より18ha増の587ha実施しました。

ポジティブリストに対応するため、無人ヘリコプターの農薬散布時の飛散防止の啓発・指導をしましたが、目標には至りませんでした。

[林業・木材産業の基盤整備]

(累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
高性能林業機械の導入	目標	(27台)	(31台)	(33台)	(36台)	(38台)	(40台)	林務課
	実績	(25台)	(33台)	(36台)	*	*	*	
林道の整備	目標	2.4km	4.8km	7.2km	9.8km	12.4km	15km	林務課
	実績	1.0km	6.5km	11.5km	*	*	*	

取り組みの概要

[高性能林業機械の導入]

低コスト木材生産システムに対応した高性能林業機械3台を新たに導入し、現地講習会を12回、成果発表会を1回開催して、このシステムの普及推進を図りました。

[漁港及び漁場の整備]

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
県管理漁港の整備	目標	(8か所)	—				→	西三河建設事務所
	実績	(8か所)	(8か所)	(8か所)	*	*	*	
漁礁・増殖場の整備	目標	(年2か所)	(年3か所)	(年2か所)	—		→	水産課
	実績	(2か所)	(3か所)	(3か所)	*	*	*	

取り組みの概要

[県管理漁港の整備]

関係機関との連携をとりながら漁港施設8か所の整備を実施しました。

[漁礁・増殖場の整備]

広域漁場整備事業により鋼製漁礁とコンクリート漁礁を設置しました。

(4)県内産食料等の消費と利用の促進

[消費者等のニーズの把握]

(累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
いいともあいちネットワークの拡大(再掲)	目標	55会員	59会員	62会員	65会員	—	→	農政課
	実績	57会員	64会員	79会員	*	*	*	

取り組みの概要

前掲(P19)参照

[ブランド化の推進]

(累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
あいちの伝統野菜の産地化	目標	1品種	—	2品種	—		→	農政課
	実績	1品種	1品種	2品種	*	*	*	

取り組みの概要

あいち中央農協管内の「碧南鮮紅五寸にんじん」の産地化を引き続き図り、新たに「早生かりもり」の産地化支援を推進しました。

[産地直売の促進]

(特産品・加工品の開発促進は累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
主な産地直売施設の利用者	目標	年64万人	—				→	農政課
	実績	71.8万人	69.4万人	75.1万人	*	*	*	
特産品・加工品の開発促進	目標	1品目	→	2品目	→	4品目	6品目	普及課
	実績	1品目	1品目	2品目	*	*	*	

取り組みの概要

[主な産地直売施設の利用者]

地産地消の推進を図るため、産地直売を支援しました。

[特産品・加工品の開発状況]

岡崎市のブドウソースに加え、今年度、幸田町のむらさき芋大福を商品開発しました。

[地域食材の利用促進]

(累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
いいともあいち推進店の拡大	目標	43店	54店	60店	65店	—	→	農政課
	実績	55店	79店	100店	*	*	*	

取り組みの概要

地産地消の推進を図るため地産地消を積極的に推進している食品加工・スーパー、飲食店を中心に推進を図りました。

今年度も、飲食店、販売店を中心に推進を図ります。

[三河材の認証制度の整備]

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
三河材の認証制度の整備	目標	(整備)	—				→	林務課
	実績	(整備)	(整備)	(整備)	*	*	*	

取り組みの概要

ガイドラインに基づき、各地区の認証制度について指導助言をしました。また、ポスターセッションや講座等により三河材の利用意義を積極的に普及しました。

[三河材の利用促進]

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
三河材の利用量	目標	年3千m ³	年3.2千m ³	年3.4千m ³	年3.6千m ³	年3.8千m ³	年4千m ³	林務課
	実績	2.7千m ³	5.1千m ³	4.4千m ³	*	*	*	

取り組みの概要

木材産地の形成と品質の安定した製材品の供給を目的とした指導と、木材の需要拡大を図るため県産材の普及・啓発を図りました。

(5) 食料等の流通体制の整備

[業務用需要への販路拡大]

(累計)

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
加工用野菜契約取引産地の拡大	目標	1産地	2産地	3産地	4産地	→	→	農政課
	実績	1産地	2産地	3産地	*	*	*	

取り組みの概要

冬春きゅうりについて、JA西三河とJAあいち中央の2産地が漬物用として、冬にんじんではJAあいち中央がジュース、カット野菜用として契約取引しています。

[海外輸出の推進]

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
輸出品目	目標	(-)	(-)	(2品目)	(3品目)	(4品目)	(5品目)	農政課
	実績	(1品目)	(2品目)	(3品目)	*	*	*	

取り組みの概要

輸出促進のため「あいちの農産物輸出促進会議」を発足するとともに、輸出意向調査を実施しました。

輸出実績のある「次郎柿・メロン」のPR用パンフレットを作成し、関係者に提供しました。なお、輸出品目は、洋ラン、大葉、次郎柿です。

[市場流通の効率化の推進]

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
再編後の卸売市場数	目標	18市場	16市場	14市場	12市場	10市場	9市場	農政課
	実績	22市場	22市場	22市場	*	*	*	

取り組みの概要

卸売市場数は、青果8、花き4(2)、水産10(3)、計22(5)となっています。

カッコ内数字は、規模未満市場で内数です。

今後、県整備計画に基づき、市場情勢、市場関係者の意向を踏まえて合併・統合・廃止など再編整備を推進します。

[輸送方法の改善]

(累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
バケット輸送を実施する切り花産地	目標	1産地	→	→	→	→	→	農政課
	実績	1産地	1産地	1産地	*	*	*	

取り組みの概要

西尾市の農事組合法人レインポーはバラを生産しており、引き続き全国各地へバケットを利用した輸送により出荷しています。

(6) 担い手の育成等の推進

[新規就業者の確保・育成]

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
新規農業就業者の確保	目標	年41人	→	→	→	→	→	普及課
	実績	29人	26人	25人	*	*	*	
新規林業就業者の確保	目標	(年30人)	→	→	→	→	→	林務課
	実績	(31人)	(26人)	(36人)	*	*	*	
新規漁業就業者の確保	目標	(年30人)	→	→	→	→	→	水産課
	実績	(53人)	(35人)	(15人)	*	*	*	

取り組みの概要

[農業]

農業高校・県農大・市町・農協・新規就農予定者の情報交換を積極的に行いました。また、新規就農者に対しては、個別・集合研修を実施し、育成を図りましたが、目標に到達できませんでした。

[林業]

愛知県林業労働力確保支援センターと連携し、農林高校生、退職者等を対象に就業相談活動や現場作業を中心とした就業前研修等を実施しました。

[漁業]

少年水産教室を2回開催し述べ28名の参加を得ました。また、パンフレット「愛知の水産業」を2000部作成し、小中学生の見学者に配布しました。

[経営体の育成]

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
認定農業者	目標	727人	827人	977人	1,127人	1,277人	1,428人	農政課 普及課
	実績	675人	863人	962人	*	*	*	

取り組みの概要

地域担い手育成総合支援協議会に出席等し、市町、JA等の協力を得て、認定農業者の少ない経営作物について、認定農業者の拡大に努めました。また、認定農業者の経営改善計画の作成を支援しました。

[女性や高齢者の能力発揮]

(いずれも累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
家族経営協定の締結	目標	122件	132件	142件	151件	160件	166件	普及課
	実績	120件	136件	153件	*	*	*	
農村女性による起業数	目標	12件	14件	15件	18件	20件	23件	普及課
	実績	15件	18件	20件	*	*	*	

取り組みの概要

[家族経営協定の締結]

経営内の役割分担を明確にし、女性や後継者が積極的に経営に係わるよう家族経営協定締結に意欲的な農業者を支援し、調印式の開催も支援しました。

[農村女性による起業数]

意欲ある女性農業者に経営改善、衛生管理等のセミナーやコンサルテーションを開催し、農産物の加工や直売等の起業化を支援しました。

[価格安定制度等への加入促進]

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
価格安定制度 加入率(野菜)	目標	71%	→	→	72%	→	73%	農政課
	実績	74%	81%	79%	*	*	*	

取り組みの概要

農協や農協の部会を通して、野菜価格安定事業の制度説明を実施し、農家の理解を図りました。

(7) 支援組織の育成強化

[地域の特徴を生かした支援組織の育成]

(累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
地域営農組織 活動の支援	目標	2地区	→	→	→	→	→	普及課
	実績	2地区	2地区	6地区	*	*	*	

取り組みの概要

岡崎市新堀地区と安城市の土地利用組織に加え、今年度は農地・水・環境保全向上対策営農分科会3組織、岡崎市の里とまちの交流型研究会1組織について、活動を支援しました。

[農業協同組合等の合併支援]

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
合併後の農業協同組合数	目標	(21)	(21)	→			(15)	農政課
	実績	(21)	(21)	(20)	*	*	*	
合併後の農業共済組合数	目標	3	→				1	農政課
	実績	3	3	1	→			
合併後の土地改良区数	目標	22	→					建設課
	実績	28	23	22	*	*	*	
合併後の森林組合数	目標	2	→	1	→			林務課
	実績	2	2	2	*	*	*	
合併後の沿岸漁業協同組合数	目標	6	→				1	水産課
	実績	6	6	6	*	*	*	

取り組みの概要

[農業協同組合数]

19年4月1日、海部地域で2JAが合併し、20JAとなりました。合併計画15地区のうち14地区において合併が概ね完了となりました。

[農業共済組合]

11月2日設立総会において、西三河農業共済組合の設立が承認されました。その後、設立認可、設立登記の手続きが完了し、2月8日に組合が発足しました。

[土地改良区]

7土地改良区により合併協議会が組織されましたが、1土地改良区が離脱しました。今後は、要請に応じて、合併を支援していきます。

[森林組合]

岡崎市・額田町森林組合合併推進協議会が設立され、協議会5回、幹事会5回が開催されました。引き続き合併に向けて支援していきます。

[漁業協同組合]

平成17年4月に合併しなかった組合について意見聴取及び合併指導してきましたが、時期尚早との意見が多数をしめているので、引き続き合併指導をします。

3 森林、農地及び漁場の適正な保全

(1) 森林・農地の適正な利用促進

[森林整備地域活動支援交付金制度への支援]

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
森林整備地域 活動実施協定 を締結してい る森林施業計 画面積	目標	年1,150ha	—————▶					林務課
	実績	1,621ha	1,998ha	1,611ha	*	*	*	

取り組みの概要

交付金制度を適切に運用し、地域の森林施業の団地化、共同化の促進を図りました。

[担い手等への農地の利用集積と耕作放棄地の解消]

(いずれも累計)

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
耕作放棄地の 解消	目標	15ha	35ha	55ha	75ha	95ha	115ha	農政課
	実績	15ha	31.7ha	56.7ha	*	*	*	
農地の流動化 面積	目標	4,500ha	4,850ha	5,150ha	5,450ha	5,750ha	6,050ha	農政課
	実績	4,475ha	4,800ha	5,109ha	*	*	*	

取り組みの概要

[耕作放棄地の解消]

市町基本構想に基づき、市町・農業委員会等と連絡を密にし、農地保有者への個別指導により解消に努めました。

[農地の流動化]

市町担い手育成支援協議会等を活用し、農地の集積を推進しました。

[中山間地域等直接支払制度への支援]

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
直接支払制度 の対象面積	目標	年80.5ha	—				→	農政課
	実績	76.0ha	76.0ha	76.0ha	*	*	*	

取り組みの概要

自主管理で実施している集落については、適正管理に努めるよう市町、JA等と連携し、指導しました。

(2) 自然災害の防止

[農地等の自然災害防止]

(いずれも累計)

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
ため池や排水 機場の整備	目標	2か所	5か所	7か所	8か所	11か所	13か所	建設課
	実績	2か所	5か所	8か所	*	*	*	
ため池や水路 の環境整備	目標	1か所	3か所	—	→	4か所	→	建設課
	実績	3か所	4か所	4か所	*	*	*	
ため池の耐震 診断	目標	2か所	3か所	—			→	建設課
	実績	2か所	3か所	3か所	*	*	*	
ため池や水路 の活用に対 する支援	目標	1地区	2地区	3地区	4地区	5地区	6地区	建設課
	実績	1地区	3地区	5地区	*	*	*	

取り組みの概要

農業用施設は、農業生産に限らず、農地の自然災害を防止するとともに、地域防災の重要な役割を担っています。農村地域の自然生態系の保全や回復、水辺空間の創造等環境と調和した整備を進めました。

[山地災害の防止]

(いずれも累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
治山施設の整備	目標	46ha	92ha	139ha	186ha	233ha	280ha	林務課
	実績	63ha	106ha	151ha	*	*	*	
保安林(民有林)の配備面積	目標	4,924ha	4,941ha	4,958ha	4,975ha	4,992ha	5,010ha	林務課
	実績	5,009ha	5,041ha	5,111ha	*	*	*	

取り組みの概要

[治山施設の整備]

地元からの要望か所を現地調査し、治山施設の規模に応じて国庫補助、単県事業で計画的に実施しました。

[保安林(民有林)の配備面積]

森林の持つ保安機能を維持増進させるため、該当箇所を現地調査し、保安林の指定手続きを行いました。

(3) 環境と調和した森林や農地の整備

[森林整備の推進]

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課	
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度		
間伐の実施	目標	年648ha	—————▶						林務課
	実績	315ha	387ha	359ha	*	*	*		

取り組みの概要

森林所有者へ間伐の普及促進を図りましたが、実績は低位に止まりました。

[生態系や景観に配慮した親水空間等の整備]

(累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
ため池や水路の環境整備(再掲)	目標	1か所	3か所	→	→	4か所	→	建設課
	実績	3か所	4か所	4か所	*	*	*	
生態系・景観に配慮した河川の改修整備	目標	(82km)	(88km)	(94km)	(100km)	(106km)	(112km)	西三河・知立建設事務所
	実績	(84km)	(92km)	(100km)	*	*	*	
地域住民による川岸への植樹	目標	(32km)	(35km)	(38km)	(41km)	(44km)	(47km)	西三河・知立建設事務所
	実績	(34km)	(35km)	(35km)	*	*	*	

取り組みの概要

[ため池や水路の環境整備] 前掲(P36)参照

[生態系・景観に配慮した河川の改修整備・地域住民による川岸への植樹]

河川改修時に、河川の特性を生かしつつ、治水との技術的整合などの検討を行い整備を実施しました。

県ホームページにより制度のPRを行いました。植樹は、地域住民、地元市町村の連携のもとに実施しました。

[魚道等の整備]

(累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
魚道等の設置	目標	1か所	→	→	→	→	→	建設課
	実績	1か所	2か所	3か所	*	*	*	

取り組みの概要

自然生態系に影響を与えないよう、対象魚種の特性に配慮した構造物の整備に努めました。

(4) 水質の保全活動

[干潟などの造成]

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
鉄鋼スラグを活用した干潟の造成	目標	(2ha)	(7ha)	(12ha)	(17ha)	(22ha)	(27ha)	水産課
	実績	(0ha)	(0ha)	(0ha)	*	*	*	

取り組みの概要
鉄鋼スラグによる干潟ができないため、海砂による干潟・浅場造成は6.0ha実施しました。新たな干潟造成材を確保するため矢作ダム堆積砂等の適性試験を行いました。

[集落排水施設の整備]

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
集落排水施設の 処理人口	目標	年4万人	—	—	—	—	→	建設課
	実績	3.51	3.50	3.81	*	*	*	

取り組みの概要
農村環境の改善と併せて公共用水域の水質を保全するため、農業集落排水施設の整備を推進しました。

[アユ再生プロジェクトの実施]

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
アユ漁獲量の 増大	目標	(230t)	(260t)	(300t)	—	—	→	水産課
	実績	(189t)	(220t)	(220t)	*	*	*	

取り組みの概要
アユ漁業再生プログラム実証調査結果に基づき、冷水病対策を基本とした放流プログラムを策定しました。12月に第3回河川のアユ漁業再生シンポジウムを開催しました。

は、2006年度の実績です。

[海・川等の清掃活動の支援]

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
漁業者と県民 による海や川 のクリーン アップ活動の 支援(再掲)	目標	年7か所	—	—	—	—	→	水産課
	実績	7か所	7か所	7か所	*	*	*	
河川や水路の 清掃、除草活 動への参加者 (再掲)	目標	年500人	→	年800人	年1,200人	年1,600人	年2,000人	建設課
	実績	512人	473人	739人	*	*	*	

取り組みの概要
前掲(P21)参照

(5) 環境負荷の低減と資源の循環利用

[家畜排せつ物の適正処理]

(累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
家畜排せつ物 処理高度化施 設の整備	目標	2か所	6か所	10か所	14か所	18か所	22か所	農政課
	実績	3か所	6か所	8か所	*	*	*	

取り組みの概要

環境巡回などの指導により吉良町の養豚農家が縦型コンポスト1基を、近代化資金により西尾市の酪農で堆肥舎1棟の合計2か所を整備し、既存と合わせて8か所となりました。

[農産物環境安全推進マニュアルの策定]

(累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
農産物環境安 全推進マニ ュアルの導 入 (再掲)	目標	—	—	1産地	3産地	4産地	5産地	普及課
	実績	—	2産地	3産地	*	*	*	

取り組みの概要

前掲(P21)参照

[エコファーマーの認定]

(累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
エコファー マーの認定者	目標	304人	369人	434人	499人	564人	631人	普及課
	実績	191人	762人	959人	*	*	*	

取り組みの概要

環境にやさしい栽培技術の普及の中で、水稻、小麦、施設野菜、露地野菜の農業者197名に対して、エコファーマーの認定を支援しました。

[バイオマスの利活用]

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
バイオマスの利活用(稲わら)	目標	年2.6万t	—	—	—	—	→	農政課
	実績	2.6万t	2.6万t	2.6万t	*	*	*	
バイオマスの利活用(食品製造残さ)	目標	(年7万t)	(年7.2万t)	(年7.4万t)	(年7.6万t)	(年7.8万t)	(年8万t)	農政課
	実績	(8.0万t)	(8.0万t)	(8.7万t)	*	*	*	
バイオマスの利活用(せん定枝)	目標	(年1,120t)	(1,480t)	(1,760t)	(2,020t)	(2,280t)	(2,500t)	農政課
	実績	(974t)	(1,204t)	(1,517t)	*	*	*	

取り組みの概要

コンバインで収穫されるため、ほとんどが細断され、すき込みにより、ほ場に還元され、一部飼料、敷料等に利用されました。

食品製造残さやせん定枝のバイオマス利用を促進をするため、会議・イベントなどの機会を捉えて周知徹底を図りました。

[農業用使用済プラスチックの再生利用の推進]

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
農業用使用済プラスチックの再生利用率	目標	48%	50%	55%	60%	—	→	農政課
	実績	75%	63%	85%	*	*	*	

取り組みの概要

農業への使用済プラスチックの分別について、機会あるごとに周知を呼びかけ、JAが計画的に回収し、再生利用の支援をしました。

[菜の花エコプロジェクトの推進]

(累計)

目標と実績		平成17年度 2005年度	平成18年度 2006年度	平成19年度 2007年度	平成20年度 2008年度	平成21年度 2009年度	平成22年度 2010年度	関係課
菜の花エコプロジェクトによる栽培面積の拡大	目標	—	1ha	2ha	3ha	4ha	5ha	農政課
	実績	0.2ha	2.2ha	5.9ha	*	*	*	

取り組みの概要

7市町で菜の花の採油用品種の栽培があり、西尾市では採油用として実施されています。県とし、採油用品種「キザキノナタネ」をプロジェクト推進用として18kg(10a当たり種子量1kg)を無償配付しました。

4 農山漁村における定住の促進

(1) 農山漁村における就業機会の増大

[就業機会の創出]

(観光ルート及び特産品・加工品の開発促進は累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課	
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度		
「農・山・海の幸づくりルート」(観光ルート)の開発(再掲)	目標	—	1ルート	2ルート	3ルート	4ルート	5ルート	農政課	
	実績	—	3ルート	7ルート	*	*	*		
主な産地直売施設の利用者(再掲)	目標	年64万人	→					→	農政課
	実績	71.8万人	69.4万人	75.1万人	*	*	*		
特産品・加工品の開発促進(再掲)	目標	1品目	→	2品目	→	4品目	6品目	普及課	
	実績	1品目	1品目	2品目	*	*	*		

取り組みの概要

[農・山・海の幸づくりルートの開発]

前掲(P18)参照

[主な産地特売施設の利用者]

前掲(P29)参照

[特産品・加工品の開発促進]

前掲(P29)参照

(2) 生活環境の整備

[農山漁村の生活環境整備]

(林道の整備は累計)

目標と実績		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	関係課	
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度		
集落排水施設の処理人口(再掲)	目標	年4万人	→					→	建設課
	実績	3.51万人	3.5万人	3.81万人	*	*	*		
林道の整備(再掲)	目標	2.4km	4.8km	7.2km	9.8km	12.4km	15km	林務課	
	実績	1.0km	6.5km	11.5km	*	*	*		

取り組みの概要

[集落排水施設の処理人口]

前掲(P39)参照

[林道の整備]

前掲(P27)参照